

# Youth Manna

マルコ1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2024/1/1(月)

## 詩篇36篇

ダビデの心の奥に「悪しき者」の背きのことばが届いていたように、私たちの心にも悪に見えるものが届くことはないだろうか？そしてそのようなことに自分の心が振り回されるようなことを経験したことはないだろうか？

ダビデは目を神様に向け、神様がどんなに大きく偉大な方であるかを告白する。君の周りにも、時に心が沈むようなことがあるかもしれない。だけど、そんな時こそまことの光であるイエス様に目を向けよう！

今日から2024年だね！新しい一年も、神様に信頼して歩んでいこう！

2024/1/2(火)

## 詩篇37:1-22

全体を通して「悪しき者」と「正しい人」が対比されているね。君はどの箇所に目が止まったかな？その箇所を深く思い巡らしてみよう。

神様を愛する生き方がどういうものなのかが語られているね。今日の箇所から、君はどのように歩みたいと思った？なるべく具体的に考えて、実行可能な目標を立ててみよう！

2024/1/3(水)

## 詩篇37:23-40

人の歩みが確かなものになるのは「主によって」であり、人の努力や決心によるのではない、と聖書は言っている。

年老いたダビデは人生を振り返って、情け深く人に貸す正しい人が、主に見捨てられるのを見たことはないと言っている。「正しい人」とは、「主にある敬虔な人」のことで、その心に「神のみおしえ」がある人のことである。

苦難のとき、「正しい人」すなわち主に身を避ける人の救いは、彼らの「皆」である主ご自身から来る。主が彼らを悪きものから助け、彼らを救われるのである。

祈り：神様、苦難のときにあなたに身を避けることができることを感謝します。

2024/1/4(木)

## マタイ3章

5節 [あなたがたは、『われわれの父はアブラハムだ』と心の中で思っていないけません。言っておきますが、神はこれらの石ころからでも、アブラハムの子らを起こすことができるのです。]

これは生まれなどは信仰には関係なく、一人一人が神様とどう生きているかが問題で、石ころのような全く関係ない人生を歩んできた人でも信じれば救われることを述べている。逆を言えばどんなにこの世的に優れてても、良い人でも、信仰が無ければ永遠のいのちを受け取ることはできないということである。

神様にあって良い実を結ぶものとなるよう！  
クリスチャンとして愛のある生き方をしよう！！

2024/1/5(金)

## マタイ4:1-11

●悪魔の最初の誘惑は何だったかな？それにイエス様は何と反論された？3-4v

●イエス様の答えをよく見てみよう。パンは見えるもの、神のことばは見えないものだ。食べ物以外にもこの社会を生きるのに君が必要だと思うものを挙げてみよう。(例：お金、成績、資格とか)

●「あれが欲しい、こうなって欲しい」など人は都合よく自分の願いが叶うことを期待するものかもしれない。神のことばで生きるとは、自分の願い中心から、神様の願いを聞くスタンスへ生き方を変えることなんじゃないかな。

2024/1/6(土)

## マタイ4:12-25

イエス様はガリラヤでメッセージをしてしばらくしてから、その後4人の漁師の若者についてくるように声をかけたね。

その4人はイエス様の弟子となっていくペテロ、アンデレ、ゼベダイの子ヤコブとヨハネだった。彼らはイエス様の語りかけにすぐに応えて自分の仕事や、家族をあとにして従いついていくことを決めていたね。

神様が語ってくださっていること、今日の出来事から教えてくださっていることを受け取り、従う選びができるよう祈っていきましょう！

2024/1/7(日)

## マタイ5:1-10

「心の貧しい者は幸いです」  
イエス様の有名な説教の一つである「山上の説教」はこのことばから始められます。

心の貧しい者とは、どのような人のことなのでしょう。

ここで言われている貧しさとは、物乞いのように生きるために誰かに頼らなければならぬ貧しさのことをさします。

自分が無力で不十分であり、どうしようもないほどに神様に頼って生きていかなければならない、と神様の必要性を痛感している人が心の貧しい人なのではないでしょうか。

自分の心はどうだろうか。  
静まって、考えてみよう。